## 10 部門別職員の状況と主な増減理由(各年4月1日現在)

D Z	分 分	職員数		対前年	主な増減理由
		平成15年	平成16年		
一般行政部門	議会	2	2	0	
	総務	2 4	2 5		町村合併に伴う事務局職員の増
	税務	8	9	1	地籍図数値化に伴う図面等の整備事務による増
	民 生	5 5	5 3	$\triangle 2$	合併を見据えての退職不補充による減
	衛生	1 5	1 5	0	
	農水	1 6	1 6	0	
	商工	1	1	0	
	土木	8	8	0	
	小 計	1 2 9	1 2 9	0	
行特 政別	教 育	2 0	2 0	0	
	小 計	2 0	2 0	0	
公営企業等会計	病院	7	7	0	
	水道	6	6	0	
	下水道	1	1	0	
	その他	7	5	$\triangle 2$	事務の統廃合および縮小による減
	小 計	2 1	1 9	$\triangle 2$	
合 計		1 7 0	1 6 8	$\triangle 2$	

(注) 職員数は、一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者などを含み、臨時または非常勤職員 を除いています。

## 11 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況

- (1) 定員適正化目標(数・率)
  - 一般行政部門においては、合併を見据えた中で退職者の不補充、民間委託等により、定員の縮減を図る。
- (2) 定員適正化手法の概要
  - 機構・組織改革…行政需要に対応した組織・機構改革を実施する。 公務能率の向上…事務改善・〇A機器等の導入により、公務能率の向上を図る。
  - 民間委託等…施設管理業務等委託化できるものについては、積極的に委託する。
- (3) 定員適正化計画の年次別進捗状況(実績)の概要

(各年4月1日現在)

	区分	14年計画 前年	15年 1 年目	16年 2 年目	15年~16年 計	(参考) 数値目標
一般行政	減員		5		5	
	増員					
	差引		△ 5		$\triangle$ 5	△3
	職員数	1 3 4	1 2 9	1 2 9	1 2 9	1 3 1

(注) 計画期間は、平成15年~平成16年の2年間である。

(各年4月1日現在) (参考)

	区分	14年計画 前年	15年 1 年目	16年 2 年目	15年~16年計	(参考) 数値目標
特別行政	減員					
	増員		1		1	
	差 引		1		1	△1
	職員数	1 9	2 0	2 0	2 0	1 8
公営企業等 会計	減員		1	2	3	
	増員					
	差 引		△ 1	△ 2	△ 3	△ 1
	職員数	2 2	2 1	1 9	1 9	2 1
計	減員		1	2	3	
	増員		1		1	
	差 引			△ 2	△ 2	△2
	職員数	4 1	4 1	3 9	3 9	3 9